

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終る2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) | 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb\_2010bpi8bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)市立道明寺こども園	階数	地上2階建て
建設地	大阪府藤井寺市林3丁目94番1、94	構造	S造
用途地域	市街化区域・防火地域指定無し	平均居住人員	200 人
気候区分		年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2014年5月29日
敷地面積	2,988 m <sup>2</sup>	作成者	㈱相和技術研究所 岡崎 広宣
建築面積	1,470 m <sup>2</sup>	確認日	2014年5月29日
延床面積	2,683 m <sup>2</sup>	確認者	㈱相和技術研究所 岡崎 広宣



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 88%  
③上記+②以外の 88%  
④上記+ 88%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.6

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	節水器具や高効率設備を導入し、節水や節電に努めている。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
全館禁煙である。	配管材は、給水管SGP-PA→B・消火管SGP(白)→C・給湯管CUP(M)→Dを使用。壁長さ比率は、0.21である。外部に露出する金属部材にメッキ処理等の防錆対策が取られている。	植栽により、良好な景観を形成している。外構緑化指数10.78%である。乳幼児用園庭を設け、自然に親しめるようにしている。防犯カメラを設置し、防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BPIm=0.64, BEIm=0.81である。	自動水栓・自動洗浄小便器を使用している。OAフロア・LGS・GL工法を使用している。グリーン調達品目を3品目以上用いている。	ライフサイクルCO <sub>2</sub> =88%である。卓越風向に対する建築物の見付面積比は、53.2%である。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム

## 大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	(仮称)市立道明寺こども園		
	建設地	大阪府藤井寺市林3丁目94番1、94番3、94番4、94番7、98番2の一部、98番3の一部、99番3の一部		
	用途/区分	学校		
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価			<b>B+</b>
	CO2削減			<b>3</b>
	省エネ対策			<b>3</b>
	みどり・ヒート アイランド対策			<b>2</b>
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	<b>3.4</b>	<b>3</b>	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 <b>1.0</b>	<b>3</b>
			住戸・宿泊	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	<b>4.0</b>	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	<b>3.0</b>	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	<b>4.0</b>	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	<b>3.0</b>	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	<b>3.4</b>	
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	<b>報告しない</b>	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	<b>2.0</b>	<b>2</b>	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	<b>2.0</b>		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	<b>2.0</b>		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				